

水源環境保全・再生かながわ県民会議 令和2年度第1回事業モニター

日 時 令和2年11月11日(水) 9時30分～17時00分

会 場 県立札掛森の家ホール

視察現場 丹沢諸戸の森、押出ノ沢

出席者 県民会議委員 11名

内 容 以下のとおり

1 事業概要の説明(11:45～12:30/県立札掛森の家ホール)

■説明内容

- ・4番事業の間伐材の搬出促進事業の概要について、森林再生課から説明。
- ・2番事業の丹沢大山の保全・再生対策事業の中高標高域ニホンジカ管理捕獲等事業について、自然環境保全センター野生生物課から説明。

■主な質疑

Q: 高標高域の山稜部等で、ワイルドライフレンジャーと猟友会の方がシカの管理捕獲を行っているとのことだが、ワイルドライフレンジャーは何人いて、年間どのくらいのシカを捕獲しているのか。(宮下委員)

A: 現在、ワイルドライフレンジャーは6名いる。平成24年当時は3名だったが、増員して6名いる。シカの捕獲数は年間300程度で推移している。現場で捕獲を行うのは、年間100日程度である。(自然環境保全センター 野生生物課)

Q: 今後、ワイルドライフレンジャーの人数を増やす計画はあるか。(宮下委員)

A: 日本においては、専門の捕獲者を育成する訓練機関やプログラムもないため、人数を増やそうとしてもなり手がいないということがある。持続的にシカの管理捕獲を行うためには、猟師の育成等について考えなければならない。今の状況では単純にワイルドライフレンジャーを増やすことは考えていない。(自然環境保全センター 野生生物課)

Q: 人間活動による森林への影響についても研究しているのか。(根岸委員)

A: 山麓の森林や耕作地の人の利用による影響はある。水源環境保全・再生施策は山の中の話で、里での人の森林への働きかけが動物に与える影響については範疇ではない。森林に人が入らなくなり、耕作放棄地が増えたことで、里の環境は動物にとって住みやすい状況になっている。将来的に、丹沢全体でシカの管理を考える場合には、その部分も考えなければならない。(自然環境保全センター 野生生物課)

2 現場視察

(1) 10:30～11:30 丹沢諸戸の森

■説明内容

- ・諸戸林業株式会社職員から会社概要の説明。
搬出した材木は歌舞伎座の舞台等に使用されており、製材は三重県に木材を運び、そこで

行っているとの説明を受けた。

- ・平成 22 年に間伐した場所を視察。

(2) 13:00～14:30 押出ノ沢（県立札掛森の家から徒歩にて移動）

■説明内容

- ・徒歩で現場に移動しながら、随時、自然環境保全センター野生生物課から説明を受ける。
- ・途中、昨年の台風第 19 号により崩落した箇所を視察。

3 意見交換（14:45～16:00／県立札掛森の家ホール）

モニター実施後、県民会議委員による意見交換を行った。

■主な意見

- ・県産木材利用のPRが不足していると感じた。
- ・コロナ禍の中で、施策の周知が出来ない事を辛く感じる。周知できる何らかの方法を考えていかなければならない。
- ・第4期計画の中で、新しい方向性の道筋をつけるのも県民会議委員の役割であるということを感じた。
- ・シカの管理捕獲について、変化しつつも現在有効と思える取組を行っていかざるをえないと思った。
- ・シカの頭数を減らせば、森林が回復するというわけでもなく、そのあたりのバランスが難しいと思った。

(以上)

水源環境保全・再生かながわ県民会議
令和2年度 第1回事業モニター行程表

■ 行程

時間	内容	対応等
9:25	① 集合 秦野駅南口中栄信用金庫付近	事務局職員
9:30 (40分)	② マイクロバス移動 (秦野駅～ボスコオートキャンプ場)	
10:10 (60分)	③ 現場視察 丹沢諸戸の森 4番事業 間伐材の搬出促進事業 補助事業者 諸戸林業株式会社神奈川支店 (会社概要説明、現場視察)	【対応】 諸戸林業株式会社 【同行】 湘南地域県政総合C 森林再生課
11:10 (20分)	④ マイクロバス移動・移動後休憩 (ボスコオートキャンプ場～県立札掛森の家)	
11:30 (40分)	⑤ 事業概要説明・質疑応答 於：県立札掛森の家ホール ・ 4番事業 間伐材の搬出促進事業概要説明 [説明：森林再生課] ・ 2番事業 丹沢大山の保全・再生対策事業概要説明 (中高標高域ニホンジカ管理捕獲等事業) [説明：自然環境保全センター野生生物課] ・ 質疑応答	【司会・進行】 事務局職員 【説明】 各事業担当者
12:10 (45分)	⑥ 昼食	
12:55 (50分)	⑦ 徒歩移動 (県立札掛森の家～押出ノ沢)	
13:45 (25分)	⑧ 現場視察 押出ノ沢 2番事業 丹沢大山の保全・再生対策事業 (中高標高域ニホンジカ管理捕獲等事業)	【説明】 自然環境保全C野生生物課
14:10 (60分)	⑨ 徒歩移動・移動後休憩 (押出ノ沢～県立札掛森の家)	
15:10 (70分)	⑩ 意見交換・総括 於：県立札掛森の家ホール	【司会・進行】 小笠原チームリーダー
16:20 (45分)	⑪ マイクロバス移動 (県立札掛森の家～秦野駅)	
17:10	⑫ 解散 秦野駅	

※ 行程は現場視察や意見交換の進行状況によって前後する場合があります。